

## シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載）

### 【第35回】

こめっ子クラブの取組（千葉県成田市立豊住小学校放課後子ども教室）

千葉県成田市立豊住小学校長 林 洋子

成田市は、千葉県の北部中央に位置し、空の玄関口成田空港、歴史や伝統で名高い成田山新勝寺がある、新旧が混在した活気ある市です。

毎週木曜日の放課後2時40分になると子どもたちは、校内の特別教室にあるこめっ子クラブの受付に駆け込みます。こめっ子クラブの活動を楽しみにしているのです。登録児童は32名で、本校の総児童数の43%に当たります。

スタッフの登録総数は、本校の保護者とそのOB、そして近隣大学の学生から構成される17名（男性7名・女性10名）です。学生以外は全て豊住地区の方で、コーディネーターを中心にスタッフが丸となり子どもたちの活動を支えています。

子どもたちが楽しみにしている活動内容は、スタッフの持ち味・引き出し・子どものニーズ・季節感等、様々な視点から話し合いがなされ決まっています。鬼ごっこ・遊具遊び・集団遊び・ニュースポーツ・絵手紙・海外の話聴く・料理・工作等、どれも子どもたちが飛びつきそうなメニューが用意され、メニューによっては特別ゲストが登場します。

11月に行われた「焼き芋パーティーをしよう」の計画には驚きました。お迎えに来る方からの情報提供もあり、焼き方の達人・芋や薪・粃殻の提供者・焼く場所の確保等々、スタッフのみならず地域の方々の協力を得て実施することが出来たからです。こめっ子クラブ便りを毎月発行し、子どもの様子を保護者にお知らせしていること等が地域の協力者を増やしている大きな要因といえます。

教室が終わり、子どもたちをお迎えの保護者に引き渡すとき、子どもが笑顔で発する言葉にスタッフと保護者の心が通い合います。何ともいえない心豊かな時間です。その後、スタッフはその日の活動の振り返りを行います。コーディネーターはこの時間を大切に、地域の人材を発掘したり、具体的な活動計画のヒントを得ているようです。

こめっ子クラブの子どもたちは、毎回、生き生きと目を輝かせて体験活動に勤しんでいます。活動の中で「実感した喜び」を報告し合っている姿は、満足感そのものです。異学年交流・スタッフとの触れあいの中で、学び・遊び・物作りを通して豊かな心が育っているこの教室が、更に充実してほしいと考えております。

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第132号に掲載）